



2023年11月30日
松浪硝子工業株式会社

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の シグネチャーパビリオン「null²」への協賛について

1. 概要

松浪硝子工業株式会社は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）において、メディアアーティストの落合陽一氏がプロデュースするシグネチャーパビリオン「null²」（テーマ：「いのちを磨く」）に協賛いたします。



パビリオン 外観イメージ

@2023 Yoichi Ochiai/設計:NOIZ All Rights Reserved.

2. シグネチャーパビリオン「null²」と松浪硝子工業の協賛について

今回落合陽一プロデューサーが「いのちを磨く」というテーマのもとに構想されたパビリオンのコンセプトは「2つの鏡」。建築は全体が有機的な鏡面を持ち変形するようになっており、来場者の姿を映し、歪ませ、未知の風景を生み出すようになっています。また、館内ではLEDディスプレイというデジタルの鏡に映しだされる自分の姿による特別な体験も。デジタルとフィジカル、コンピューターと自然、質量のない世界と物理世界、鏡を用いて体験者は2つの世界を行き来し、自分をみつめることができます。

松浪硝子工業は1844年（弘化元年）に薄玻璃製造を開始し、2024年に創業180周年を迎えます。松浪硝子工業が創業当時から関わっている「鏡」。その鏡を「有史以来、行われてこなかった鏡の再発明。」として、新たな鏡の世界を見せていただける落合陽一プロデューサーの想いに賛同し、協賛することを決定しました。

3. 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の概要

テーマ： いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ：
・Saving Lives（いのちを救う）
・Empowering Lives（いのちに力を与える）
・Connecting Lives（いのちをつなぐ）

コンセプト： - People's Living Lab - 未来社会の実験場

開催期間： 2025年4月13日（日） - 10月13日（月） 184日間

開催場所： 大阪 夢洲（ゆめしま）

4. 「シグネチャーパビリオン」とは

テーマ事業（シグネチャープロジェクト）は大阪・関西万博を象徴・代表する事業であり、8名の専門家がつくるパビリオンは、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でもあることから、「シグネチャーパビリオン」と名付けました。8名のテーマ事業プロデューサーが大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を、それぞれ固有の観点から解釈、展開し、未来に生きる人々に繋ぎ渡すパビリオンを建設します。

■パビリオン名、テーマ、テーマ事業プロデューサー名

・Co-being

「いのちを響き合わせる」 宮田 裕章（慶応義塾大学教授）

・いのちの未来

「いのちを拓げる」 石黒 浩（大阪大学教授、ATR 石黒浩特別研究所客員所長）

・いのちの遊び場 クラゲ館

「いのちを高める」 中島 さち子（音楽家、数学研究者、STEAM 教育家）

・null²

「いのちを磨く」 落合 陽一（メディアアーティスト）

・いのち動的平衡館

「いのちを知る」 福岡 伸一（生物学者、青山学院大学教授）

・いのちめぐる冒険

「いのちを育む」 河森 正治（アニメーション監督、メカニックデザイナー、ビジョンクリエイター）

・EARTH MART

「いのちをつむぐ」 小山 薫堂（放送作家、京都芸術大学副学長）

・いのちのあかし

「いのちを守る」 河瀬 直美（映画作家）

